

平成29年度 第2回 向日市いじめ防止対策推進委員会の概要

- 1 日 時 平成30年2月6日（火）午後1時～同3時
- 2 場 所 京都府乙訓総合庁舎 第2会議室
- 3 出席者 委員長 本間 友巳 京都教育大学教授
副委員長 平 正博 弁護士
委員 北口 雄一 臨床心理士
荒井久美子 臨床心理士
学校教育課 野田 昌之 担当課長兼総括指導主事
(事務局) 良澤 尚則 主査

(傍聴人：あり)

4 内 容

- (1) 委嘱状交付式
- (2) 別添調査の概要に基づいて報告
- (3) 質疑

5 概 要

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 平成29年度「調査の概要」報告（1月末時点）

(事務局から)

- ・認知件数 小学校 1回目871件、2回目707件
中学校 1回目66件、2回目54件
合計 1,698件
- ・解消件数 小学校 1回目715件、2回目38件
中学校 1回目60件、2回目1件
合計 814件
- ・未解消件数 小学校 1回目156件、2回目669件
中学校 1回目6件、2回目53件
合計 884件

※2回目調査の認知事象のうち、解消とみなす3カ月後調査は未実施

(3) 質疑等

- ・いじめを受けている子どもについては、個別の聞き取りをして、子どもの状況を捉えるとともに、子どもの状況にあわせて指導の方向性を組織的に情報を共有し、被害の子を守ることや、継続した支援をすることなど、状況に応じた支援を工夫すること。
- ・いじめ事象の解消を3カ月の経過を見て判断することとなり、安易に解消とはしないことや、未解消の事象も、状況に違いがあるなど実際の様子がどうかということに着目することが重要である。